

# 平成27年度 五ヶ瀬町立坂本小学校自己評価書

評価については、4段階評価（A：期待以上 B：ほぼ期待通り C：やや期待以下 D：大幅な改善を要する） C、Dの評価については、理由及び改善の取組等を記述。

		評 価 項 目	評価	理由及び改善のための取組等
1	職員・満 子 足 度 も 及 び 態 度	子どもたちは、毎日楽しそうに学校に通っている。	B	<b>※ B評価についてもさらに充実していく点について、表記する。</b> ○ 各職員は、日々真摯に、一生懸命に、児童の学力向上、基本的な生活習慣の徹底、健康・体力面等の指導、より充実した学校生活を送るための職務に取り組んでいる。 ○ 職員と保護者が各児童の課題についてじっくりと話し合う機会を設定する必要がある。 ○ 運動会や収穫祭等の行事を工夫し、保護者や地域の方が参加しやすい工夫が効果を上げてきた。 ○ あいさつについては保護者と連携して、地域でも積極的なあいさつできる取組を講じていきたい。
2		職員は、教育活動に熱心に取り組んでいる。	A	
3		職員は、まとまりがある。	B	
4		保護者や子どもが学校生活に悩みがあって相談したとき、職員は親身に応じている。	B	
5		職員は、本校に来校した地域住民や保護者に明るくていねいに対応している。	B	
6		学校行事や体験活動には、地域住民や保護者が参観しやすいよう工夫している。	B	
7		子どもたちは、地域住民や子ども同士で気持ちよい挨拶ができています。	B	
8	保護者地域と の交流	普段から教職員と保護者と交流ができています。	B	○ 児童の意識として、地域に生活している、地域にお世話になっていること、それに対して自分たちは何ができるかという視点で考えさせ、実践に取り組ませたい。
9		教職員が地域の行事に積極的に参加するなど、地域住民との交流ができています。	B	
10		地域の行事に子どもたちが積極的に参加・協力する体制ができています。	B	
11	危機管理・ 情報公開	子どもたちのけがや病気に対して、適切に対応している。	B	○ 昨年度作成した「坂本小いじめ防止基本方針」を改訂した。それについて、日常的にどう実践に結びつけているのか、保護者や地域に知らせることが必要である。 ○ 個人面談を設定したり、機会あるごとに保護者と緊密に連絡をとったりできる取組を実践していきたい。
12		防災訓練や緊急連絡等の一斉メールなど、非常災害時の対策を十分に講じている。	B	
13		学校の教育方針や重点的な取組が明確で、地域や保護者に浸透するよう努めている。	B	
14		いじめ防止のための対策やいじめ発生時の対応・態勢がとれている。	B	
15		配付資料やホームページ等で、学校や子どもたちの様子を適切に公開できている。	A	
16		職員は、学級の状況をよく把握し、教育懇談会などの保護者会において、保護者に学校・学級の様子をよく伝えている。	B	
17		保護者面談等において、子どもたちの様子を保護者と共有することができています。	B	
18	環境	学校内の掲示物を工夫するなど、児童生徒の学習環境が整えられている。	B	○ 校舎、教室等の施設関係の改修を積極的に働きかけてきた。次年度は優先的に取り組んでいただける予定になっている。 ○ 日常的に児童と職員で、整理・整頓に努め、できる限り自ら充実した環境整備に当たっていき
19		清掃・整理整頓が行き届いており、明るく清潔な環境の中で教育ができています。	C	
20	確かな 学力	諸学力調査の結果を分析・考察し、指導に役立てている。	B	○ 「児童一人一人の実態に応じた確かな学力の向上」を掲げ、基礎的・基本的な学習内容の習得とさらに発展的な学習に取り組める児童に対する指導が成果を上げつつある。 ○ 各教室で学習することと、G授業において身に付けるべき内容をしっかり吟味し、「選択と集中」を図っていかねばならない。
21		児童・生徒一人一人の学力を的確に把握し、学習指導を展開している。	B	
22		授業力向上のための研究授業や研修の充実を図っている。	B	
23		小学校相互・中学校相互に効果のあるG授業の実践を積み重ねている。	B	
24		外部機関と連携した取組を指導に生かしている。	B	
25		各種調査結果より本校の授業等で、子どもたちの学力が向上している。	B	
①		基礎的・基本的な内容の習熟と実態に応じて発展的な学習にも取り組んでいる。	B	
②		読むこと・話すこと（音読、スピーチ集会等）、書くこと（作文や俳句や短歌づくり等）を通して、表現力の育成に努める。	B	
26	重点取 組事項と 成果	地域の人材や資源を学習活動等に効果的に活用するなど、五ヶ瀬（地域）のよさを幅広く認識する教育活動を意図的に実施している。	A	○ 各学年の豊かな体験活動がさらに充実してきている。児童の発達段階や学年相互の関連を再度見直し、「選択と集中」を継続していきたい。 ○ 児童の「ふるさと五ヶ瀬のよさ」に対する思いを語れるようになってきている。 ○ 保護者や地域の方に継続して、G教育ビジョンのよさを実感いただくようにしたい。 ○ 生活面での「本物の力」は、まだまだ定着しているとは言えないので、まず「あいさつ」を保護者、地域と協働して徹底していきたい。
27		学校行事や体験活動は、五ヶ瀬を知り、五ヶ瀬で学び、五ヶ瀬に貢献するという観点から工夫され充実している。	A	
28		学校行事や体験活動の目的や内容は、地域住民によく理解されている。	B	
29		本校のカリキュラムにより、子どもたちが成長している。	B	
③		基本的な生活習慣をいつでも、どこでも発揮できる（＝本物の力）ようにする。	B	
④		危機管理体制を充実させ、家庭や地域、関係機関と連携して、安全教育の徹底に努める。	B	
30	健康・ 体力	「ごかせっすこやかプラン」を広く周知し、学校の課題解決に努めている。	B	○ 児童の学力向上や基本的な生活習慣の定着を図るうえで、その基になる心身の健康づくりを重点的に取り組んだ。これは、児童自身の実践はもとより、それを支える家庭の取組が大きな力を与えている。 ○ 様々な啓発活動を行ってきたが、今後もさらに実践に結びつく啓発活動を行ってきたい。 ○ 全校児童34名中、半分以上の18名が体力テストにおいて、A判定を受けたことは日頃の体育の授業、元気タイム、昼休みの外遊び、スポーツ少年団活動等とのタイアップが功を奏していると考え。
31		「すこやか健康貯金」を活用して、子どもたちの指導に生かしている。	B	
32		体力テストの結果や体力向上プランをもとに、児童生徒の体力向上にしっかりと取り組んでいる。	A	
33		「体力向上プラン」を、体育科学習の工夫改善に役立てている。	B	
⑤		「早寝・早起き・朝ご飯」の実践を身に付けている。	B	
⑥		「欠席0」を年間170日間、達成する。	B	

## 【 平成27年度の総括評価 】

○ 子どもたちは日々の授業やG授業をとおして、確実に学力を付けている。今後も積み重ねを大切にして、継続的、発展的な指導に取り組んでいきたい。  
 ○ 各保護者と話をする時間を確保して、学習指導や生活指導、保健指導に関わる課題について、保護者の願いや悩みをじっくり聞いたり、アドバイスや啓発を行ったりしながら、子どもたちをよりよく成長させていきたい。